



推進員さんに直接聞きました！

中島団地自治会 吉浜さん の場合

吉浜さんは、平成 29 年4月1日、同自治会長さんからの推薦を受け廃棄物減量等推進員になりました。

市担当者： 吉浜さんの活動を、市民の皆様や推進員さんに広めていきたいと思いましたが、インタビューさせていただきます！吉浜さんが推進員になった経緯を教えてください。

吉浜さん： **ごみの正しい分別を呼び掛けるだけでなく、地域を巡回し、住民と言葉を交わすことは、地域の安全や防災の観点からも必要なことだと思い、推進員の役を引き受けることにしました。**

市担当者： 推進員になって、ごみに対する意識の変化などはありましたか？

吉浜さん： 自分を出すごみについて考えるようになり、**今まで以上に分別を心掛けるようになりました。**

自分が出しているごみは一体どのくらいの重さなのか調べてみようと思い、ごみを出す前に計量することになりました。すると、どういったときにごみの量が増えるのか、減らすにはどうしたらよいか、という課題等が見えてきます。**何事も継続が大切だ**と思います。

市担当者： 毎回計量しているのですね！ごみの減量に対する意識が高まりそうです。

12月頃、吉浜さんから地域の皆様に、**ごみの出し方や減量方法について周知する方法はないか？地域全体でごみの減量に取り組むことはできないか？**と相談を受け、収集業務課市政出前講座「**ごみの出し方 SOS**」という講座を地域で開催してみないか、と提案させていただいたんですよね。

吉浜さん： はい。自治会に話をし、出前講座を申し込み、ごみの正しい分別方法やごみの減量方法について学びました。

講座を受けて、中島団地自治会では、**「ごみ減量プロジェクト」**に取り組むことにしました。**①「3切り」の推奨 ②「雑紙」の分別**を軸に、1月、2月と可燃ごみの減量に取り組みました。

市担当者： 吉浜さん自身は、どのように取り組まれましたか？

吉浜さん： 主に生ごみの水切りを徹底しました。果物の皮などは、乾かすことで半分以上軽くなります。**一人一人が、少しでもごみを減らそうと考えて行動すれば、全体で大きくごみの量が減るのではないかと、**と思っています。これからも中島団地自治会では、独自の取り組みを定め、**プロジェクトを継続**していきます。より多くの住人の方に高い意識を持ってもらえるよう、来年度も市政出前講座を受講したいと考えています。

市担当者： ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします！

